

彩小ふれあいだより

平成22年7月13日

広島市立彩が丘小学校

校長 竹川 智子

三和中学校3年生～里帰り支援活動



4年算数

7月7日(水)三和中学校3年生が自分の出身小学校を訪問し、小学生と異年齢交流をする取り組みが実施されました。名付けて「里帰り支援活動」。三和中学校の河野校長先生より申し出があり、中学校区5つの小学校長が連携し実現する運びとなりました。少子化で、異年齢集団の中で遊ぶことが少なくなった今の時代、中学生と共に学習や活動を行うことは、同じ地域で育つ仲間として伝え合い、人間関係を育むことにつながり、小・中学生双方に大変意義のあることだと考えました。

朝から、中学生は小学生と一緒に登校です。三和中からも来山先生、吉原先生が来てくださり、脱靴室前で出席確認をされました。さすが中学生、体も大きく小学生から見ると迫力があります。「人に合わせた行動がとれるようになること」これを目標に中学生は5名ずつ分かれて、すべてのクラスに入りました。1時間目授業の支援活動です。すべての学級担任が、中学生が小学生に学習支援する上で活躍できるように授業作りを工夫していました。1年では算数「たし算とひき算カード作りとゲーム」。2年生は1組体育「たすき取りゲーム」2組算数「くり下がりのあるひき算」。3年は算数「長さ：実際に教室内などを計測」。4年「初めてのローマ字」。5年図工「A Bの文字をもとにデザインする」。6年算数「練習プリント」。なかよし「七夕かざり」。どの学級でも中学生は一生懸命がんばってくれていました。小学生も中学生もとてもいい表情で言葉を交わす様子が見られました。2校時は2年生と町内清掃です。(別紙に続く)



1年算数



3年算数



2年体育



5年図工



4年算数



自己紹介

